

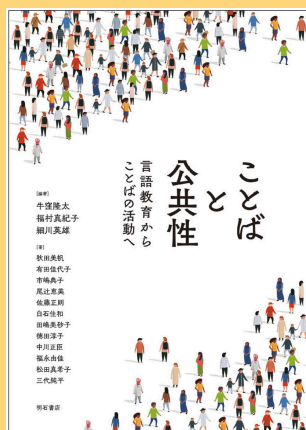
『ことばと公共性 言語教育からことばの活動へ』

事前読了
不要

読書会内で
読みます

著者による
講座/活動あり

読書会



日本語教育にたずさわる私たちは、日本語教育の場で何をしているのでしょうか。漢字を教える、文法を教える、会話の授業をする、読解の授業をする…学習者それぞれが一人で、ペアで、グループで、教室全体で…そんな時、そこには「場」ができ、やり取りが生まれます。ことばを使って学習者がしているのは、それぞれの考えのやり取り。表明された考えから展開し、笑い、考え、討議し、時には新たな考えに発展する。それぞれの考えを尊重し、「場」に出てきた考えを皆でみつめる。教室という場がそんな空間だと、私たちは意識しているのでしょうか。ここで取り上げる「公共性」にはそんな意味が含まれています。

参加特典 課題本を 2 割引 + 送料無料で販売！

開催日・参加著者など 裏面参照

参加方法・人数 ZOOM または 対面
対面は各回 6 名まで 下記 **CHEERS** 住所にて（名古屋国際センター駅より徒歩 5 分）

申し込み方法 下記どちらかの方法でお申し込みください。
 ☆ Google フォーム (<https://forms.gle/GZwggfZNSjN7Ywby6>) に必要事項をご記入ください。
 ☆ cheersnagoya@gmail.com までメールを送信ください。
 タイトル「読書会：共生社会」。本文にお名前（ふりがな）、参加日、書籍購入希望の有無、参加方法（zoom／対面）、所属、アドレスをご記入ください。

締め切り 各読書会の 10 日前 *対面は定員になり次第、締め切ります

参加料金 単発参加：3,500 円/回 3 回以上参加：3,200 円/回
 通し参加：24,000 円/8 回 ⚠️お申し込み時の参加回数です。最終的参加回数ではありません。
 <キャンセルにつきまして>

基本的に、参加料金納入後の返金には応じかねますので、ご了承ください。また、開催前 1 週間を切ったキャンセルは、理由のいかんによらず返金できません。

申込フォーム



主催：CHEERS 江崎由美子

名古屋市西区那古野 1-18-5 テラコワ那古野四間道

協力：明石書店

『ことばと公共性 言語教育からことばの活動へ』読書会 開催日程

	読書会開催日時 各回 10-12 時	参加著者 (敬称略)	執筆章	著者参加 方法*	著者から一言	編者 参加	
1	3 月 23 日(日)	細川英雄	序章 ことばによって生きるための公共性	対面**	ことばの活動によって、公共的個人＝市民になる。	牛窪	対面**
2	4 月 20 日(日)	市嶋典子	2章 コロナ禍における留学生交流事業の取り組み「第三の故郷を見つける農家民泊」再開までの軌跡	対面**	言語活動に内在する公共性を探ってみたいと思います。		
		佐藤正則 三代純平	10 章 公共性から考えるサハリン残留日本人 帰国者支援の変遷と永住帰国者の語りから	オンライン	複言語・複文化、公共性と親密圏をめぐって話し合いたいと思います。		
3	7 月 27 日(日)	牛窪隆太	13 章 ことばの教育と「公共」の接点を探る ハーパーマスの公共圏における言語観をもとに	対面**	言語教育と公共圏の関係について考えます。		
4	8 月 24 日(日)	田嶋美砂子	5章 英語と私と公共性 批判的応用言語学の視点から	対面**	英語の政治性と公共性について考えてみませんか。	福村	対面**
		有田佳代子	1 章 クリティカルな思考が「自己犠牲」につながるとしたら 公共性－複数生を志向する教室と、アレントの教育論	対面**	「批判的思考」と「教育の役割」の葛藤のようなことについて考えてみたいです。		
5	9 月 28 日(日)	秋田美帆 徳田淳子	6章 差別や偏見の「壁」を越える ベトナム人留学生による技能実習生支援の現場から	対面**	公共性の視点から、在留外国人を取り巻く課題について一緒に考えてみませんか。		
6	10 月 19 日(日)	福村真紀子	11 章 閉じられたスキー宿に公共性の風が吹く	対面**	普段気づかない、自分が持っている「権力」とことばの活動について考えてみたいです。	牛窪	対面**
			12 章 言語教育をことばの活動へと広げる「公共性」 ハンナ・アレントが重んじる複数生、開放性、自由を手がかりに				
7	11 月 30 日(日)	白石佳和	4章 連句活動における公共性 文芸的公共圏としての座の文学	対面**	公共性、公共圏という考え方は日本にも昔からあります。文芸の視点から公共性をながめてみませんか。		
		松田真希子	7章 移動家族が持つ弱さと信頼の親密圏を育てる 日本で育つ移動家族の子どもの語りから見えるもの	対面**	「弱さ」がひらく公共性について考えています。		
8	12 月 21 日(日)	尾辻恵美	9章 店の「カウンター」が引き寄せるコンヴィヴリアリティと公共性 言説の空間を超えて	対面**	場所やモノにも目を向けて公共性を考えます。	牛窪	オンライン

- ・すべて読書会後に 30 分程度の交流会がございます。
- ・*講師の都合により、参加方法が変更する場合があります。悪しからずご了承ください。
- ・**交流会後に対面参加の方を対象に対面参加講師を囲んでのランチ懇親会を行います。

(1 時間程度・別料金：1,500 円程度を予定)

主催：CHEERS 江崎由美子

名古屋市西区那古野 1-18-5 テラコワ那古野四間道

協力：明石書店